安倍９条改憲ストップ！
「戦争はいやだ」の声を

3000万人署名に



総選挙の結果、自民党・公明党が議席の３分の２を維持しました。議席数のうえでは、憲法改正を発議できる数が確保されましたが、改憲を発議できるかどうかを決めるのは、国民の世論です。選挙直後の朝日新聞の世論調査では、「安倍政権下での改憲について、反対45％、賛成36％」です。「戦争だけはイヤだ」という声を「安倍９条改憲ＮＯ！　憲法を生かす全国統一署名」に集めましょう。明日を決めるのは、私たち国民です。

安倍政権の存続を国民は求めていない

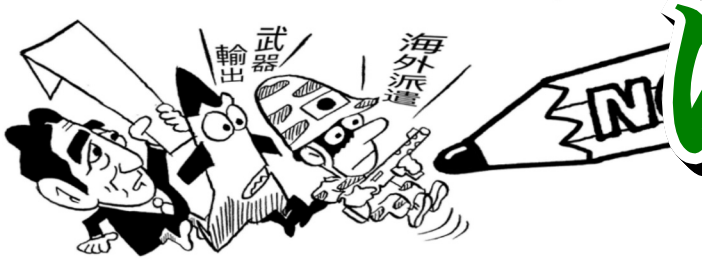


今回の総選挙で、自民党は比例では33％の票しか得ていないのに、全議席数の61％を得ました。これは、小選挙区で４割の得票で８割の議席を得たことによるものです。自民党の「大勝」は、小選挙区制マジックによる「虚構の多数」と言わざるをえません。国民は、けっして安倍政権を支持しているわけではありません。森友・加計疑惑隠しを国民は許していません。

安倍９条改憲は戦争する国への道

自民党は、選挙後、「天の時を得た」などと数を力に「安倍９条改憲」を一気に進めようとしています。憲法９条に「自衛隊」を明記して、「戦力を保持しない」と決めた９条２項を空文化させようとしています。９条の歯止めをはずして、海外で無制限に武力行使できる「戦争する国」をねらっています。武力から平和は生まれません。憲法９条破壊は許されません。





日本政府は核兵器禁止条約に参加を

核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）がノーベル平和賞を受賞し、あらためて「核兵器禁止条約」への関心が高まっています。非人道的な核兵器を歴史上はじめて違法化し、全面禁止した「核兵器禁止条約」に、日本政府は参加しようとしていません。被爆国の政府として許されません。「核兵器禁止条約」への参加を日本政府に求めましょう。

北朝鮮問題の解決の道は対話でこそ

北朝鮮の核・ミサイル開発問題の解決が求められます。朝鮮半島や北東アジアで絶対に戦争を起こしてはなりません。経済制裁の強化とともに、北朝鮮とアメリカの直接対話が求められます。「対話に意味がない」などと、軍事的圧力強化を認める安倍首相の対応では、事態を深刻化するばかりです。平和外交こそ求められています。憲法9条は変えてはなりません。今こそ、憲法9条を生かすときです。



京都自治労連・京都教職員組合　2017．11